

住吉中学校ブロック第3回学校教育部会

開催日時 平成25年2月12日（火） 19:00~20:30

会 場 住吉小学校 プレハブ2階会議室

次 第

- 1 開会
- 2 学校教育部会委員の紹介
- 3 部会長選出
- 4 議事
 - (1) 小学校統合後の評価
 - (2) 中学校における新学習指導要領実施後の状況
 - (3) 新設校における制服導入の検討について
- 5 報告
 - (1) 先進事例視察の報告
- 6 閉会

住吉中学校ブロック学校教育委員会

第3回会議資料

日時：平成25年2月12日（火）

場所：住吉小学校 プレハブ2階会議室

- 1 小学校統合後の評価
- 2 中学校における新学習指導要領実施後の状況
- 3 新設校における制服導入の検討について

小学校統合後の評価

学校からの評価

住吉小学校と美野島小学校は、統合前から学校行事などを通して交流を行うなど十分な連携を図ってきたことから統合後はすぐになじみあい円滑に学校生活を送ることができている。

○統合後の様子

【学習面】

- ★統合により児童数や先生が増えたことで環境が変わり子どもたちが活性化した。また、多様な意見に触れる機会が増え、お互いに刺激し合いながら思考力がより培われてきている。
- ★体育の学習では、少人数では難しかった集団でのゲームや遊びが充実している。
- ★2校の学習規律が1つにまとまり、小中連携教育が行いやすい環境が整った。

【生活面】

- ★交友関係が固定化されず、人間関係に広がりが見られた。
- ★お互いの学校文化に興味を持ち、学校生活全体が活気づいた。
- ★1学期は子ども同士がお互いを刺激し合い、人間関係を模索している面がみられたが、2学期には落ち着いた。
- ★あいさつや掃除への取り組みが向上した。
- ★旧住吉小の児童は今年4月に初めてのクラス替えを経験するため、落ち着いた学校生活を送れるよう見守りが必要である。

保護者からの評価

- 運動会などの学校行事において、従来の支え合う姿に加え、ともに競い合う姿が顕著に見られるようになり、おもしろさが増した。また、先生が1つにまとまっており、素晴らしいと感じた。
- 授業中に子どもたちが落ち着いて先生の話聞くことができていることに安心した。
- 通学が遠くなり心配していたが、通学時の地域・PTAの見守りのおかげで安全な通学ができおり安心して居る。引き続き危険箇所への取り組みを進めてほしい。

地域からの評価

- 多くの児童たちとあいさつを交わし触れ合うようになり地域が明るく、にぎやかになった。
- 児童数が増えたことで運動会の競技や演技に見応えがあった。また、先生の指導力だけでなく協力体制に感心した。
- 下校時の態度に課題が見られるため指導が必要である。また、通学路の安全確保には引き続き取り組んでほしい。

今後の取り組み

- 平成27年度の小中連携校開校や、今後10年後20年後を見通して、学習規律や生活習慣を学校全体で統一し、これらを児童や保護者にも周知徹底して学習効果の向上を図っていく。

中学校における新学習指導要領実施後の状況

新学習指導要領について

新しい学習指導要領については、中学校では平成24年4月から本格実施されており、基本的な考え方は以下のとおりである。

- ★教育基本法改正等で明確になった教育の理念を踏まえ、「生きる力」を育成。
- ★知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成のバランスを重視。
- ★道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成。

【実施後】国語、社会、数学、理科、保健体育、外国語の6教科の授業時間数が3年間で増加し、週あたりの授業時数が各学年で週1コマ増加することとなった。

○実施に伴う時数

実施前（20年度）

学年 教科等	1	2	3	計
国語	140	105	105	350
社会	105	105	85	295
数学	105	105	105	315
理科	105	105	80	290
音楽	45	35	35	115
美術	45	35	35	115
保健体育	90	90	90	270
技術・家庭	70	70	35	175
外国語	105	105	105	315
道徳	35	35	35	105
特別活動	35	35	35	105
選択教科等	0～30	50～85	105～165	155～250
総合的な学習の時間	70～100	70～105	70～130	210～335
合計	980	980	980	2,940

実施後（24年度）

学年 教科等	1	2	3	計	増加率
国語	140	140	105	385	10%
社会	105	105	140	350	19%
数学	140	105	140	385	22%
理科	105	140	140	385	33%
音楽	45	35	35	115	-
美術	45	35	35	115	-
保健体育	105	105	105	315	17%
技術・家庭	70	70	35	175	-
外国語	140	140	140	420	33%
道徳	35	35	35	105	-
特別活動	35	35	35	105	-
総合的な学習の時間	50	70	70	190	-
合計	1,015	1,015	1,015	3,045	

※網掛けは時数が増えた箇所

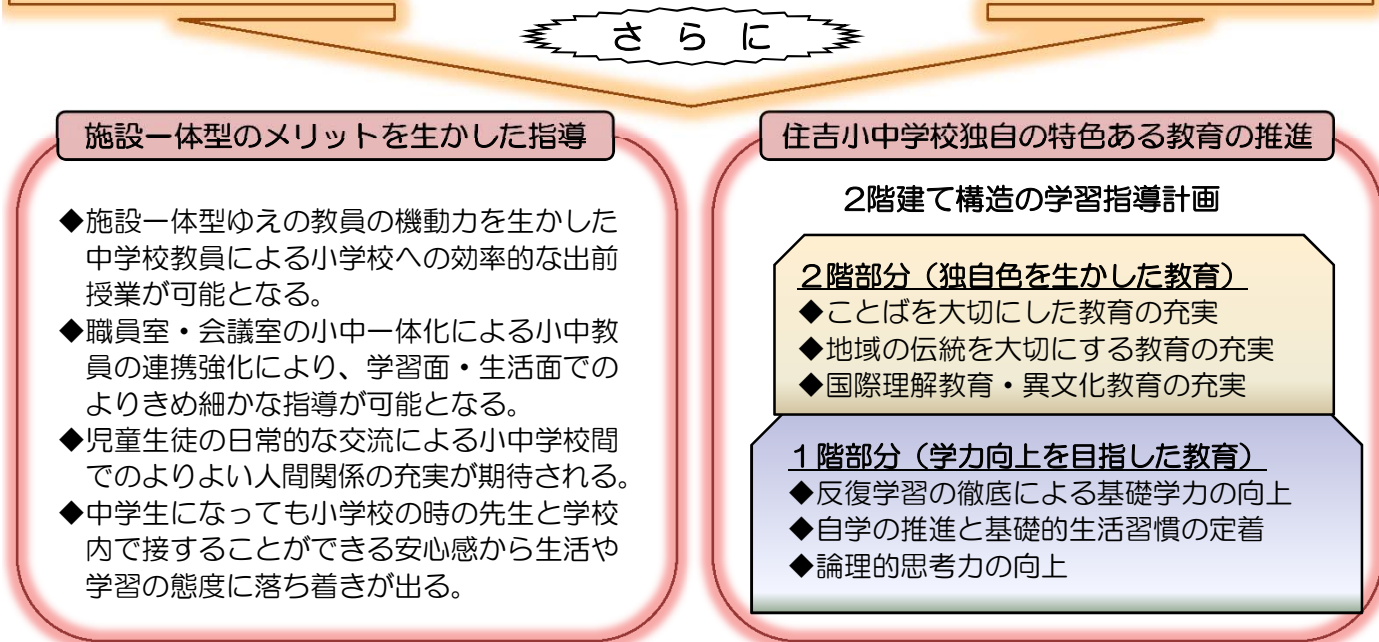
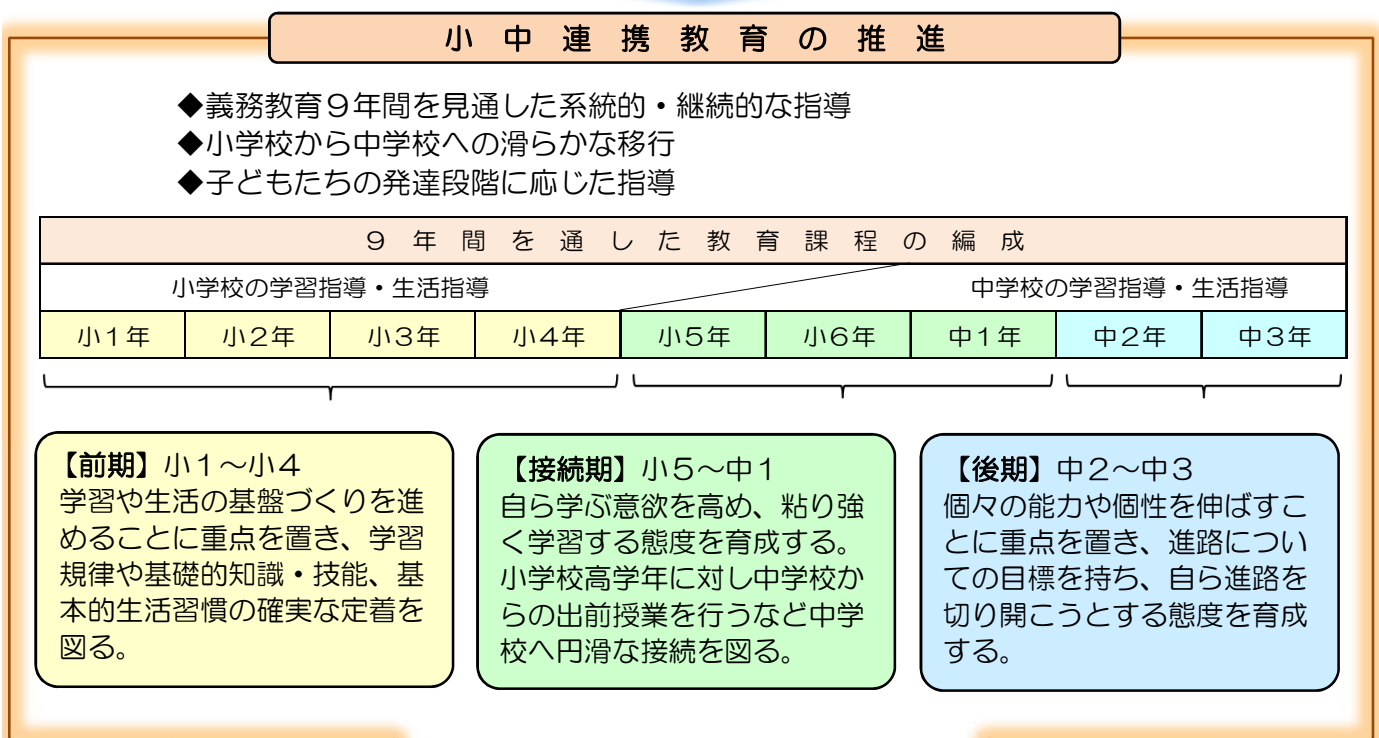
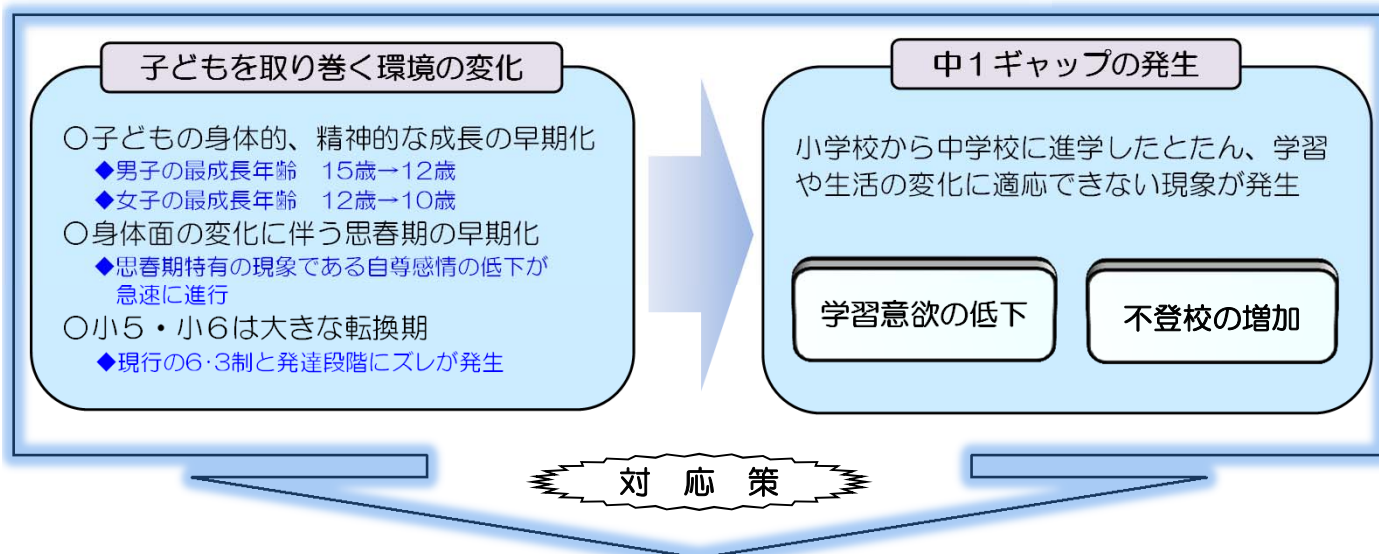
実施以降の状況と対応

各教科で新たに加わった内容等については、研修等を通じ周知していたため、概ね教職員、生徒ともに対応できている。

課題と対応

- 各学年で授業時数が年間35時数、週1コマ増加し、学習内容のボリュームが増したことにより、教員が授業のために費やす準備の時間や授業時間が不足しがちな点が見受けられるため、生徒たちの基礎学力・応用力の定着などにしっかり取り組んでいく。
- 道徳・学活・総合的な時間・人権教育については、特に小中一貫したカリキュラムを組み、段差のない円滑な移行を目指していく必要がある。
そのため、施設一体型のメリットである小中双方の教員の機動力を生かしたきめ細やかな指導を発揮できるよう新年度から検討していく。

小中学校が連携した特色ある教育の推進



検討スケジュール

年 度		取 り 組 み の 内 容		
平成24年度	4月	小学校統合・中学校新学習指導要領本格実施		
	5月			
	6月			
	7月	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%; background-color: #fff9c4;"> <p style="text-align: center; border: 1px solid orange; border-radius: 5px; background-color: #ffe0b2; margin-bottom: 5px;">小 学 校</p> <p>○統合に伴う課題検証 ○新しい学校文化の醸成</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">↓</p> <p style="text-align: center;">小学校の土台固め</p> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%; background-color: #d1c4e9;"> <p style="text-align: center; border: 1px solid blue; border-radius: 5px; background-color: #b39ddb; margin-bottom: 5px;">中 学 校</p> <p>○新学習指導要領本格実施に伴う課題検証</p> <p style="text-align: center; font-size: 2em;">↓</p> <p style="text-align: center;">中学校の土台固め</p> </div> </div>		
	8月			
	9月			
	10月			
	11月			
	12月			
	1月			制服導入の検討
	2月			
	3月			アンケート実施 集計分析
平成25年度			<p style="text-align: center;">教育指導計画の検討</p> <p>○小・中学校が連携した教育指導計画の検討 ○住吉小中学校独自の特色ある教育目標の策定 ○小中連携校における時制のあり方の検討</p>	アンケート結果を 踏まえた導入の検討
				<p style="text-align: center;">【導入の場合】</p> <p>○デザイン案検討 ○コスト検討</p>
		<p style="text-align: center;">【導入の場合】</p> <p>○制服業者打合せ ○制服製作</p>		
平成26年度		<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #bbdefb; width: 30%; text-align: center;">校内研修</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; background-color: #ffe0b2; width: 30%; text-align: center;">試 行</div>	<p style="text-align: center;">【導入の場合】</p> <p>○制服業者打合せ ○制服製作</p>	
			購 入	
平成27年度		小 中 連 携 校 開 校		

新設校における制服導入の検討について

平成27年4月開校の新設校において、独自の制服を導入することについて検討を行うもの。

1. 現在の状況

- 小学生：私服
- 中学生：標準服として、男子は詰め襟型（黒）、女子はセーラー服

中学校の標準服



※新たに制服を導入した場合の事例

制服（ブレザータイプ）例



2. 制服導入にあたっての考え方

○ 導入のメリット

- ・住吉小中学校の児童生徒としての自覚がより強まり、学校に対する“ほこり”“愛着”が醸成され、新設校のブランド化にもつながる。
- ・他の市立校の児童生徒と明確に区別されるため、周囲からの関心を意識することで規律意識が高まる。

○ 懸案事項

- ・小学校の場合、新たに購入費が必要となる。ただし、購入後は私服を用意する必要がなくなる。
- ・中学校の場合、同程度の価格設定とすれば、保護者の新たな費用負担は生じない。

○ 導入する際の留意事項

- ・小中学校の制服としてふさわしい色や形となるよう検討する必要がある。
- ・常時着用することから耐久性があること、家庭で洗濯できることなど制服のケアが容易にできることが望ましい。
- ・導入にあたっては各世帯によって所得が異なることから費用面での一定の配慮が必要となるが、一校区に限った支援制度はなく、全市一律の制度として一定の所得未満の世帯に対しては就学援助制度が適用される。※1

3. 検討の流れ

- 制服導入について下記の区分で保護者・児童生徒・教職員に対し意向調査を行う。

	中学校		小学校
ケース①	従来の標準服	ケース①	従来どおり私服
ケース②	独自の制服	ケース②	一部を統一した制服 (夏はポロシャツ、冬は上着のみなど)
		ケース③	独自の制服

※意向調査票は8ページのとおり

- 意向調査の結果を踏まえ、学校教育部会において小学校・中学校ごとに導入の可否を検討する。
- 導入することとなった場合は、その後デザイン案に入る。

※1 参考：就学援助制度について

○ 制度の趣旨

経済的な理由により就学が困難な子どもたちの保護者に対して援助を行い、子どもたちが等しく義務教育を受けることができるようにすることを目的とする。

○ 対象者

市民税非課税または減免の適用を受けている、国民年金または国民健康保険の保険料の全額免除を受けている、市民税所得割額が本市で定める基準額以下である、などの条件に該当する方。

※本市の市民税所得割額基準（平成24年度）

15歳以下の子ども的人数	1人	2人	3人	4人	5人	6人
H24市民税所得割額	82,800円	104,100円	126,900円	148,200円	169,400円	190,800円

○ 本市の給付費目及び給付額

給付費目	小学校		中学校	
	対象学年	支給額	対象学年	支給額
入学準備金	1年生	19,900円	1年生	22,900円
給食費	全学年	必要経費の実費	全学年	必要経費の実費
学用品費等	1年生	1学期 7,010円	1年生	1学期 14,080円
	2～6年生	1学期 9,180円	2～3年生	1学期 16,250円
	全学年	2学期 3,200円 3学期 2,400円	全学年	2学期 5,600円 3学期 4,200円
修学旅行費	6年生	対象経費の実費	2年生	対象経費の実費
社会科見学費	5年生	対象経費の実費	援助対象外	—
卒業記念品費	6年生	対象経費の実費	3年生	対象経費の実費
校外活動費 (宿泊を伴うもの)	全学年	交通費、見学料の実費	全学年	交通費、見学料の実費
体育実技用具費 (柔道着のみ)	援助対象外	—	全学年	必要経費の実費
通学費	全学年	必要と認められる額	全学年	必要と認められる額
災害給付金	全学年	再購入費	全学年	再購入費

○ 入学準備金について

支給額：小学1年生・19,900円、中学校1年生・22,900円

※支給額は定額であり、当該給付で賅うことができない支出は保護者の負担となる。

制服を導入した場合の支給対象は入学準備金が該当するが、当該給付は入学時に必要となる小学生のランドセル、中学生の標準服や、文房具、カバンなどの学用品の購入費に対して援助するものであり、制服を導入した場合は以下の状況となる。

- ・中学生の場合は、現在の標準服と同程度の価格設定とすれば、支給対象が標準服から制服にかわるに過ぎず支出増とはならないが、小学生の場合は、現在私服であるため制服購入が新たな支出となり負担増となる。
- ・支給対象者は小・中学生とも1年生の保護者のみであり、開校時点における小学2～6年生の保護者、中学2～3年生の保護者は対象とならず、負担増となる。

新設校における制服の意向調査票（児童・生徒用）

該当する区分に○で囲んでください

小学校 ・ 中学校

性別

男 ・ 女

○中学校の制服について

下記の2つのうち、いずれかに○印を記入してください。

- 1 現在の標準服であるのままでよい。（男子：詰め襟型（黒）、女子：セーラー服）



現在の標準服

- 2 標準服とは別のタイプの制服を検討する。（ブレザーなど）

※検討する場合は、耐久性や色、洗濯などのケアに配慮し、現在の標準服と同程度の価格で検討します。



制服（ブレザータイプ）の例

左の写真は検討のためのイメージとなります

- 3 制服に関して意見がございましたらご記入ください。

○小学校の制服について

下記の3つのうち、いずれかに○印を記入してください。

- 1 現在の私服のままでよい。

- 2 一部を統一した制服を検討する。
（夏はワンポイントとして校章を入れたポロシャツ、冬は上着のみを統一など）

- 3 小中連携校として中学校と同デザインの制服を検討する。（ブレザーなど）

※検討する場合は、耐久性や色、洗濯などのケアに配慮いたします。なお、中学校の標準服と同程度の費用負担（約3万円）が生じることになります。

- 4 制服に関して意見がございましたらご記入ください。

住吉中学校ブロック学校教育部会

第3回会議資料

先進事例視察の報告

◎先進事例視察の報告

日程：平成24年11月21～22日

視察地：名古屋市立笹島小中学校，川崎市はるひ野小中学校，渋谷区立渋谷本町学園

視察者：【住吉中学校】坂井校長，大戸教務主任，池田教諭
【住吉小学校】杉原教務主任，宮原教諭
【学校計画課】中村係長，宮下係員 計7名

名古屋市立笹島小中学校

【学校概要】

所在地：名古屋市中村区名駅四丁目19番1号

開校：平成22年4月1日

建物規模：地下1階 地上6階

敷地面積：6,576㎡

延床面積：13,534㎡

児童生徒数：1年生から6年生（児童） 121人

7年生から9年生（生徒） 76人 計197人

※名古屋市中心部に位置する施設一体型の小中連携校。

【地下1階】

体育館，更衣室，会議室 等

〔体育館へ続く廊下〕

地下体育館への動線。

【1階】

美術室，図工室，音楽室，給食調理室 等



【2階】

職員室，保健室，グラウンド，特別支援学級 等

〔職員室〕

小・中の間仕切りはなく，事務室と一体。
来校者が校門のインターホンを押すと，
職員室で職員が対応し電子錠で鍵を操作。
学校の周りにカメラを設置し，職員室で
チェック。

【3階】

普通教室（小1～小3），図書室，
コンピューター室 等

【図書室】

小学生用，中学生用の書架を分けているが，
お互いに行き来しながら利用するため，幅
広い学習が可能。

【4階】

普通教室（小4～小6），理科室，多目的室 等
図工・音楽・理科の授業で中学校の教員が小学校
に乗り入れ授業を実施。
小学校の英語を中学校のALTが指導。



【5階】

普通教室（中1～中3），調理室，被服室 等

【普通教室・特別教室】

子どもたちは，高さ調節が可能な机と椅子で学習。

【廊下】



【廊下のフリースペース】

中学生の教室の階では，高校の情報などを掲示。

【6階】

ランチルーム，プール等

【ランチルーム】

食事だけではなく，集会などにも使われる。
学校が小規模のため，全校生徒で利用可能。



【プール】

水深は固定式であるが，レーンによって深さを変
えることにより，小学生・中学生の体格差をカバー。
地域開放実施なし。

川崎市立はるひ野小中学

【学校概要】

所在地 : 神奈川県川崎市麻生区はるひ野4丁目8-1

開校 : 平成20年4月1日

建物規模 : 地上4階

敷地面積 : 24,356㎡

延床面積 : 17,459㎡

児童生徒数 : 小学部 885人
 中学部 252人 計1,137人

※土地区画整理事業がすすめられた地区に、街づくりの核となるべき公益施設として新設された施設一体型の小中連携校。

【1階】

普通教室（小学生）、職員室、
大アリーナ（体育館）、保健室、給食調理室 等

〔学校外観〕



セキュリティは外部の業者に委託。
常駐する職員が防犯カメラをチェック。
来校者は入校のためにIDカードが必要。

〔グラウンド〕



〔ランチルーム〕
原則弁当持参である中学生のみが
昼食時に使用。
小学生は各教室で給食。



【2階】
普通教室（小学生），図書室，美術室，
技術室，理科室，小アリーナ 等

〔普通教室（小学生）〕
小1～小4，小5～中1，中2・中3で区切
られた3ブロック制を採用。
図工・音楽の授業で，中学校の教員が小学校
に乗り入れ授業を実施。小学生に，中学生が
好きな本や職場体験について教える合同授業
が展開され，子どもたちの絆の深まりに寄与。

【3階】
普通教室（小学生，中1），音楽室，被服室，
調理室 等

【4階】
各教科用教室，ホームベース（中2・中3用教室）

〔ホームベース・各教科用教室〕
独自の取り組みとして，普通教室を確保せず
中2・中3は教科ごとの専用の教室で学習。



〔教室〕
小学生と中学生が触れ合うことで，中学生は
年長者としての自覚と優しさが芽生え，小学
生は年上に対するあこがれと尊敬の気持ち
を持ち，自立心が成長。

〔制服〕
川崎市立の中学校で，唯一制服を採用。
小学校は制服なし。



渋谷区立渋谷本町学園

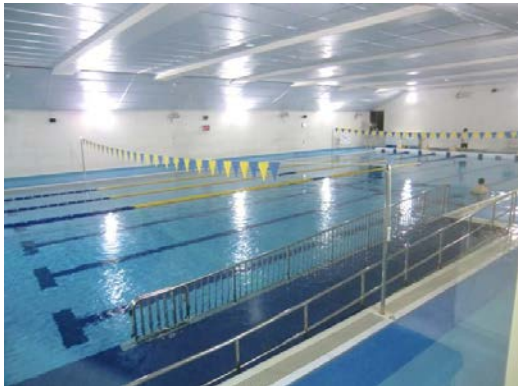
【学校概要】

所在地 : 東京都渋谷区本町4丁目3番1号
開校 : 平成24年4月1日
建物規模 : 地上4階 地下3階
敷地面積 : 9,920㎡
延床面積 : 14,809㎡
児童生徒数 : 1年生から6年生 379人
7年生から9年生 153人 計532人
※2つの小学校と1つの中学校が統合してできた小中一貫校。

【地下3階】

大体育室, 更衣室, 機械室 等

〔大体育室〕



【地下2階】

中体育室, 武道場 等

【地下1階】

プール, ミーティングルーム 等

〔プール〕

【1階】

普通教室 (小1, 小3), 図書室, 給食室,
美術室 等

〔図書室〕

小・中合同の図書室。
小学生向け・中学生向けの図書配置は別々だが、
子どもたちは活発に行き来しながら利用。
小中一貫校ならではの幅広い分野の本が子ども
たちの好奇心を刺激し、発展的な学習が可能。





〔グラウンド〕
人工芝のグラウンド。
夏場は直射日光が人工芝に吸収され、
表面温度が高くなる傾向あり。

【2階】
普通教室（小2，小3），職員室，保健室，
特別支援学級，技術室 等

〔普通教室〕
小学生は45分授業，中学生は50分授業と時制の
違いがあり，最初は時制が重なるところのみチャ
イムを鳴らしていたが，現在はノーチャイムで運
営。子供たちは自発的に時間を管理して行動。



〔職員室〕
教諭の協力体制を作るため，小・中合同。
頻繁に打ち合わせを行い，小・中の枠を
越えた密な情報共有を実施。

【3階】
普通教室（小5～中1），音楽室，視聴覚室，
コンピュータ室 等

【4階】
普通教室（中2，中3），理科室，家庭科室，
ランチルーム 等

〔普通教室〕



〔制服〕
小・中おなじ制服を採用しているが，ネクタイの
色で校種を区別。小・中それぞれ1年生の購入は
義務。
経過措置として他の学年は購入自由としているが，
学校行事には制服に似た服の着用を義務付け。